

杉戸町記者発表資料

- 平成28年2月4日（木）
- 担当課 総務課
- 担当者 職員担当 平井、大梶
- 電話番号 0480-33-1111（内線212）

杉戸町職員による「杉戸未来創造塾」が町の未来を提案！ 町長らに向けて、政策プレゼンテーションを実施しました。

昨年度より始まった、入庁15年目の杉戸町職員を対象とした「杉戸未来創造塾」が、2月1日（月）、杉戸町役場会議室にて、町長ら幹部職員に向けての政策プレゼンテーションを、下記のとおり実施しました。

この「杉戸未来創造塾」は、町民のニーズに応える政策を実現していくための政策形成・提言能力を習得することを目的に、政策提言研修として実施したもので、今年度の対象者7名が2グループに分かれ、「地方版総合戦略」をテーマに年度を通して研究を行いました。

記

■「杉戸未来創造塾」概要

1. 目的 厳しい財政状況や職員数減少の中で、町民のニーズに応える政策を実現していくためには、職員の政策形成・提言能力の向上が不可欠な中、行政課題の実践的な技能を習得することを目的としています。
2. 内容 講師：牧瀬 稔^{まきせ みのる}氏（一般財団法人地域開発研究所）
 カリキュラム：全5回の内部研修のほか、先進自治体の視察、業務時間外の自主的ミーティングなど。
※内部研修第5回目が政策プレゼンテーションとなります。
3. 対象 杉戸町役場入庁15年目程度の職員7名（内訳：一般事務6名、保健師1名）

■提言プレゼンテーション内容

- ・ “学校をもっと身近に” 巡回バスを利用した子育て環境の充実
- ・ “都心でシゴト、週末農業” 農業PR・アグリビジネス支援「農のある暮らし」
- ・ “地元で出会い、地元で育む” 結婚・出産による定住促進「杉戸町マリッジサポート」など。

■古谷松雄町長のコメント

「町としても子育て支援、若者の婚活支援等には力を入れていきたい。実際にすぐにでも実施出来そうな提案もあった。今後もこのような職員による提案を積極的に取り入れ、町の更なる活性化を目指していきたい。」

■参加者のコメント

- ・ 「様々なデータから見えてきた町の課題（少子高齢化、人口減少等）と向き合い、町の将来を考える良いきっかけになりました」

- ・「チーム一丸となって町の現状を分析し、先進自治体の事例を参考として政策を作り上げたことは大変勉強になりました」
- ・「今後は、提案した政策が実現できるように取り組んでいきたい」

■今後の展開

政策プレゼンテーション内容について、担当部署による協議・検討の上、「地方版総合戦略」として町の活性化に効果があり、実現性が高いものについては、適宜、施策・事業への展開を図るものとします。

■その他 画像（6枚）

【画像①】プレゼン会場（役場会議室）の様子



【画像②】パワーポイントを活用したプレゼン



【画像③】地元での婚活サポートを提案



【画像④】講評する古谷町長（中央）



【画像⑤】講評を聴く研修者7名



【画像⑥】集合写真

